

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 高梁城南 高等学校
実践場面	インターンシップ報告会
実践日時（時期）	令和5年9月29日（金） （インターンシップは夏休み中の3日間で実施）
対象生徒（学年）	電気科2年生全員
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ 商工会議所・商工会 ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 生徒の進路等、これまでの関わりのある企業等へ個別に依頼 ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input checked="" type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

実践の内容

【現状】

- ・高梁城南高校電気科では、前身の高梁工業高校時代の平成13年から、進路意識の高揚を図るとともに、勤労観・職業観の育成の一助とするため、2年生全員がインターンシップを行っている。
- ・インターンシップの事前指導として、7月には新見労働基準監督署の指導により安全教育講演会を実施し、ヒヤリ・ハットやKYT（危険予知トレーニング）など、安全意識の向上を図っている。



【実践内容】

- ・8月の夏休みを利用して、電気科2年生の生徒は全員、自分の希望する事業所において3日間程度のインターンシップを行う。（令和5年度は11社13か所で実施）
- ・インターンシップ実施後は、事業所ごとに「事業所概要」「体験内容」「感想」などをまとめた報告書を作成する。また、それらをまとめた冊子「インターンシップ報告書『芽生え』」を毎年発行する。
- ・高梁市文化交流館中ホールを会場に「インターンシップ報告会」を開催し、インターンシップを体験した生徒一人ひとりがステージ上で、自身の活動内容について発表して、活動の振り返りを行う。
- ・報告会には電気科1・3年生だけでなく、インターンシップ協力企業や高梁商工会議所、保護者等にも参加いただき、多くの方々に生徒の体験内容を聞いてもらうようにしている。（令和5年度の企業の出席は9社）



実践による効果等

- ・事後指導として報告会まで行うことで、インターンシップでの体験内容を自身が振り返るとともに、他人の活動内容も共有することができる有意義なものとなっている。
- ・お世話になったインターンシップ受入先企業等へも生徒の体験内容をフィードバックすることができ、次年度以降の活動に繋げることができる。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）